

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：緑園なえば保育園本園・ 分園あかちゃんのいえ	種別：認可保育所
代表者氏名：向田 まり子	定員（利用人数）：（本園）122名（112名） （分園）20名（20名）
所在地：〒245-0002 （本園）横浜市泉区緑園4-4、（分園）横浜市泉区緑園5-3-12	
TEL：（本園）045-810-6131、（分園）045-443-9620	
ホームページ： http://izumi-naeba.net	

【施設・事業所の概要】

開設年月日	（本園）2003年4月1日、（分園）2013年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）	社会福祉法人 いずみ苗場の会	
職員数	常勤職員：（本園）17名、（分園）5名	非常勤職員：（本園）14名（内嘱託員等3名）、 （分園）3名（内嘱託員等2名）
専門職員	保育士（本園）19名、（分園）6名	看護師（分園）1名
	調理師（本園）4名、（分園）1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	【本園】保育室8室（一時保育室、病後児保育室含む）、給食室1室、事務室1室、相談室1室、職員休憩室1室、調理師休憩室1室、教材室1室、多目的ホール 【分園】保育室2室（0、1歳児）、医務コーナー	本園、分園共に子どもの心身に良い木材を使用した内装、珪藻土を使用している。 園庭遊具は、木製大型遊具、木製滑り台、ベンチ等を設置し子どもが肌で感じる感触を大切にしている。また、木材なのでメンテナンスも定期的に行っている。木彫りの人形を置き情動的なことへの配慮もしている。

③理念・基本方針

<p>【法人理念・基本方針】</p> <p>福祉に優しい街づくりを目指し、地域の声に耳を傾けながら、人と人とのつながりを大切にします</p> <p>基本方針</p> <p>①地域に愛される法人運営</p> <p>②専門性ある良質な支援</p> <p>③柔軟な思考と発想による事業推進</p> <p>④信頼ある福祉職員の育成</p> <p>【保育理念】</p> <p>「みんなちがって みんないい すくすくまっすぐ おひさまに向かう 苗のように」「すべての人々はこの世に必要があつてうまれてきている」という思いのもと、どんな子どもも分け隔てなく受け入れ、ともに生活をする場としていく</p> <p>【保育方針】</p> <p>昔から受け継がれた食生活を基本にし、給食は和食の献立ですべて手作りの食事をする</p> <p>身体と心を動かす遊びで、生きる意欲、生きる力を育む保育をする</p> <p>子どもも大人も地域も共に育ち合う関係づくりをする</p>

① 施設・事業所の特徴的な取組

- ・安全・安心して生活できる環境づくりを心掛けており、蚊取り線香、珪藻土や和紙の壁、虫除けスプレー、ハンドソープなど自然素材のものを使用しています。また、食材は低農薬や有機栽培のものを泉区内の農家と契約して、生産者が見える安全・安心なものを子どもに提供しています。
- ・岩手県遠野市の伝承の子育て（子ども一人ひとりの言動、表情を感じ取りその中に子どもの思いや気持ちがあるという視点）を保育に取り入れ、一人ひとりの子どもの気持ちを大切にしています。
- ・園庭や園舎が広々としていて定員 122 名でも狭く感じることはなく、子どもたちが安全に遊べる空間が確保されています。
- ・卒園しても「いなほの会」と言う卒園児の会があり、毎年バーベキュー等を開き卒園後も交流を重ねています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年7月3日（契約日）～2021年3月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2015年度）

⑥ 総評

◆特に評価の高い点

●恵まれた環境の中で子どもたちはのびのびと元気いっぱい体を動かしています

園の周りには自然に触れ合える場所や公園が多くあり、毎日、子どもたちは屋外に散歩に出かけています。公園では縄跳びや凧揚げなどをして元気いっぱい体を動かしたり、道がないところを散策したり斜面を登ったりし、草花等を観察して四季を感じています。また、園舎は広い空間で、多目的ホールや秘密基地、各保育室のテラスも雨が降っていてもオーニングテントを出せばそこで遊べるくらい広々としています。園庭は大型の木製遊具があったり、はだして歩いても大丈夫な状態になっていたり乳児がハイハイできる芝生もあります。日中はなるべくおもちゃの数を調整して子どもたちが友だち同士で遊びを考えるようにしており、広々とした園内を追いかけっこやごっこ遊び、絵合わせ等のゲーム性のある遊びを楽しんでいます。子どもたちはのびのびと、屋外でも園内でも、元気いっぱい体を動かしています。

●一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添い育む保育を実践しています

園では岩手県遠野市の伝承の子育て（わらべうたを通じて子ども一人ひとりの言動、表情を感じ取りその中に子どもの思いや気持ちがあるという視点）の保育を実践しています。その保育の視点を園全体で共通理解した上で保育実践できるように、毎年度、伝承の子育ての研修を各クラスで1回行ったり、新年度会議や実践検討会で、具体的な事例を挙げて子どもへの声掛けや関わり方を検証・確認しています。このように保育士は、一人ひとりの子どもの発達状況を把握し、一對一のやり取りの中で子どもの思いや気持ちを受け止め、子どもが自分の気持ちを素直に表現し人との関係を築けるように、子どもの気持ちに寄り添い育む保育を実践しています。

●地域との関わりを大切にして「人と関わり、育ち合う場」として地域の子育て支援を行っています

園の保育方針では、人との関わりを掲げて「地域の方々との交流を大切に、互いに情報交換をしながら育ち合う場」としています。園の地域子育て支援「つくしの会」は毎週木曜日に、園庭開放は園の行事が無い土曜日に行っており、そこで地域の子育ての相談を積極的に受け付けています。また、園の行事の夕涼み会や餅つき大会には、掲示板等で地域の方の参加を呼び掛けています。園が所属している自治会では班長を務めたこともあり、自治会の行事には保育士がボランティアとして参加し交流するなど地域との関わりを大切にしています。園長は緑園地区福祉保健計画の策定や3地区子育てネットワーク、緑園地域子育てネットワークの子育てしやすい街づくり事業検討会に参画し、現状のニーズや課題の把握に努めています。また、地域の子育て支援拠点「ぴっころ」とは協働して親子で参加できるイベントを企画して行う等、連携して地域の子育て支援を行っています。

◆改善を求められる点

●保護者等が園に対して意見を言いやすい環境づくりの工夫が期待されます

子どもの様子はクラスノートや懇談会等で伝えていきます。今年度から、クラスごとの活動内容を保護者にわかりやすく伝える為に、写真を入れて説明を加えたものを各クラスの入り口に置いて見られるようにしたり、懇談会でも子どもの様子を録画したビデオを流して伝えるなどの工夫をしています。しかし、保護者が意見を言える場として個人面談、懇談会、「先生と保護者の会」（保護者会）がありますが、具体的な相談方法は明示されていません。玄関に保護者に相談方法を文書で掲示したり、意見箱を設置するなど、普段から意見を言いやすい環境づくりの工夫が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

まずは今回の第三者評価に関して、アンケートなどご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

結果を受けての感想としては、一番大きく感じたことが今まで曖昧になっていた部分があり、ルールなど明確になっていなかったということを実感しました。その為、職員の中でも特定のことに周知、認識にばらつきが出てしまっていることに気づく機会となりました。またそのことは保護者の方にも分かりにくくなっている部分もあると感じ、今後更に改善していかなければいけないと感じています。

一方で保育士間の保育の振り返りや、評価の話し合いの中では、課題を改めて気づくだけでなく、今出来ていることにも、更に努力するという意見が多くあり頼もしく感じた部分でもあります。

アンケート結果の中では特に多く意見をいただいた、「感染症の情報提供不足」「お子さんの様子に関する情報交換不足」に対しては、今年新型コロナウイルス感染症の予防のため、コミュニケーションの難しさを感じながらも工夫してきた部分でもあります。まだまだ力不足を感じるものでした。保護者の方に今後更に分かりやすく明快に伝えていく努力をしていきたいと思っております。

緑園なえば保育園 本園・分園あかちゃんのいえ
園長 向田 まり子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり